

東北税政連だより

No.183

税理士の権益の維持とその拡大のために税政連があります

研修会及び後援会会長連絡会議を開催

7月7日、東北税理士会館会議室において、研修会及び後援会会長連絡会議を開催、各後援会会長及び役員24名、当連盟役員19名が参加した。

冒頭、青木正会長より「東北税理士会が提案した「所得税法の災害損失の適用期間の延長」が実に4年越しに実現し、現行3年から5年に延長されることになり、令和5年度「与党税制改正大綱」記載されることになった。本連盟として、東北税理士会及び各県税政連並びに各後援会と一丸となって陳情活動に取り組んだ結果が大きな力となっており、今後も後援会活動をより活発化させて国会議員等と良好な関係を構築していただきたい」旨あいさつがあった。



青木正会長

前半は東北税理士会倉成磨調査研究部長による「税制改正建議と税政連の役割」をテーマとした研修会を開催し、後半の後援会会長連絡会議では、小山内雅志後援会対策委員長から後援会活動の現況と活性化に向けた対応策の説明後、吉田恵幸幹事長の進行により、後援会組織のあり方について協議が行われた。



倉成磨氏

各後援会より活動状況報告、諸問題について意見交換が行われ、吉田幹事長から税制改正への陳情について、8月末に関係各省庁から財務省主税局に提出される税制改正要望に要望を盛り込んでもらうことが極めて重要であるため、より一層早い時期での陳情活動を実施してほしいと説明があった。

第50回定期大会を開催

宮城県税理士政治連盟

7月21日、「パレスへいあん（仙台市）」において、第50回定期大会が開催された。

大会は、石川隆雄副幹事長の司会により、はじめに、武田孫市会長から、会員の支援に対する感謝の言葉の後、「所得税法の災害損失の適用期間の延長が実に4年越しに実現し、現行3年から5年に延長されることになったことは、東北税理士会及び各県税政連並びに各後援会と一丸となって陳情活動に取り組んだ成果です。各議員後援会、会員の皆様に深く感謝するとともに、なお一層、陳情活動を強化していき活発な活動を展開してまいります」とのあいさつがあった。

続いて議長に千葉勇喜会員が指名され、議事に入り

第1号議案から第5号議案が審議され、満場一致で可決承認された。

なお、本年度は、任期満了に伴う役員改選があり、会長に武田孫市会員が再任した。

最後に来賓を代表して、東北税理士会高澤圭一会長と東北税理士政治連盟青木正会長に祝辞をいただき、定期大会は終了した。



定期大会を開催

青森県税理士政治連盟

7月21日、「ホテル青森（青森市）」において定期大会が開催された。

今年度は新型コロナウイルス感染症も5類へと移行し、コロナ禍前と同様に特に制限などもなく通常通り開催された。



東北税理士政治連盟工藤重信副会長、青森県支部連合会兼平義弘会長、東北税理士政治連盟小瀬川郷太郎顧問、神田潤一衆議院議員（代理出席）、木村次郎衆議

院議員（代理出席）を来賓に迎え、田中文貴副幹事長の司会のもと、佐々木泰司副会長の開会の辞に続き、西村晴夫会長よりあいさつがあった。

その後議案審議に入り、事業報告・事業計画は長谷川有実幹事長から、収支決算・収支予算の承認は里村敏副幹事長から、第3号議案の役員改選の件は長谷川幹事長より説明があり、議案は満場一致をもって原案通り可決承認された。

最後に今良暢副会長の閉会の辞をもって定期大会は無事終了した。

懇親会には、津島淳衆議院議員も出席され、大いに盛り上がり有意義な交流の場となった。